

# “鮮度一番！”

No.220

## ～女性と男性が支え合う社会をつくる～

## CONTENTS

1～2 / ワーママのジレンマ Vol. 3

2 / 『堤中納言物語』 第3話

3～4 / 運営委員会で話し合われたこと

4～6 / にいがた女性会議通信No.95より転載 編集後記

## Vol. 3

## ワーママのジレンマ

石本史子

さあ今回は後半戦です。前回に引き続き、職場でほっとしたのも束の間、16時には子どもたちを保育園まで迎えに行かねばならないので、大急ぎで仕事に取り掛かります。とはいえ、娘二人のスケジュールと経営者としてのスケジュール、母としてのスケジュール一切合財抱えていると、仕事モードに切り替わるまで（つまり仕事の記憶が取り戻せるまで）しばらく時間がかかるのです。えー………と…まず何するんだっけ？ああ、あれからか。このようにものすごいスロースターターです。

はっきり言います。仕事ならずっと仕事に集中している方が楽です。仕事が一本の糸ですつとつながっているのが見えるからです。しかし、上記のような他の予定やら何やら細切れに時間が過ぎて、あっという間にお迎え、買い物、子どもたちの明日の準備、洗濯、夕飯の支度、お風呂入れ、ご飯、寝支度、寝かしつけとなり、まさに目まぐるしく時は過ぎ、わけがわからないまま毎日が終わっていきます。記憶なんてありません。

マルチタスク、それは職場で色々な事をこなしていてもそう呼べるかもしれません。しかし、ワーママは、普通の仕事に加え、種類の違うタスクが小刻みにやってきて、それを綱渡りではなく、ビートたけしの風雲たけし城にあった竜神池（池の上に浮かぶ石の上をぴよんぴよん飛び渡り、向こう岸に行くゲーム）のようにこなしているようです。

マルチタスクのつらいところは何よりそこなのです。記憶や意識がとぎれとぎれなのです。それでも一連の流れとして仕事はこなさなくてははいけないのです。だから私は「この瞬間にこの作業に向かわなければ、次は記憶がない！」という思いから、私は猛烈な勢いで仕事をこなします。ワーママに次はないのです。

「仕事なんてさ、休み休みすればいいんだよ」と言った男性職員が以前の職場にいましたが、ワーママはそんなことはしません。本当にワーママは時間と記憶との闘いなのです。

何か忘れてやいないかという不安との闘いもあります。自分の予定だけではありません。パパの仕事の都合、子どもたちの保育園の予定、そこに急病や急用がカウンターパンチでやってきます。

さて、2回にわたりマルチタスクについて色々とお話させていただきました。正直書き足りない

のですが、ここで一旦終わりにしたいと思います。ご参考までに、これは深夜に書いております。一度次女が目覚め、授乳しながら片手でキーボードをたたき、原稿を作成しています。そういう時にふと思うのです。頑張ることは大切だけど、色々な女性が無理し過ぎずに働くことを継続できる世の中になったらなあ。

私は娘たちが母親になる時まで、そんな社会になってほしいと切に願っています。

## 『堤中納言物語』を読む (第3話) 「このついで」

三条地名研究会 杉野真司

第3話は、「このついで」です。三つのお話のオムニバス形式の内容です。三つのお話が前のお話の雰囲気を受けて次々に語られます。女性の井戸端会議の様子をしゃれた感じにまとめたとも言えるでしょうか。

ところは、後宮（こうきゅう）、宮中で皇后をはじめとする女性たちの住むエリア。江戸時代の大奥に似た印象をもたれるかもしれません。帝（みかど）の訪れを待ちわびる奥様に当たる中宮（ちゅうぐう）がいられます。帝の奥様は、身分によって、皇后、中宮、女御（にょうご）、更衣（こうい）の順があります。つれづれの様子の中宮を慰めようと、中宮の兄弟かと思われる美貌の貴公子が登場し、身近におきた出来事を語りはじめます。続いて中宮のお側に仕える女房（にょうぼう）とよばれる女性たちが語り継いで行くという趣向です。

中宮を慰めようとしてはじめたおしゃべりは、案に相違して、語る内容が寂しい身の上の女性の話題となってしまう、微妙な空気が流れはじめます。そこに、帝のお出ましが伝えられ、ほっとした空気の中で物語が閉じられます。平安時代の宮中を舞台にした物語は、絶対的中心人物の帝（みかど・天皇）の寵愛をめぐる、女性たちの心理や容姿の描写に重きをなしています。「このついで」は、清少納言が、一条帝の奥様、中宮定子（ていし）の前で機知に富んだ話題を披露する『枕草子』のサロン文化の世界を彷彿とさせます。女性にとっておしゃべりがいつの時代もかけがえのないものといった印象を受けます。

(H29. 7. 31)



## 運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成29年8月2日（水）（AM9：30～11：30）

場 所 男女共同参画センター(桜木町)

9月の運営委員会は、6日（水曜日）9:30～男女共同参画センターです。どなたでもおいでください。

# 1.

## 何か報告はありませんか？

当会で運営委員としてもご協力いただいていた宇治勇さんが、亡くなりました。

宇治さんは、早い時期から私たち女性の問題に関心を寄せられて、一緒に又エックへ行って学んだり、お酒を飲みながら沢山の話をしてきました。今年の総会の頃、山で足を滑らせて怪我をしたことは聞いていたのですが、突然の訃報となりました。宇治さんのあの優しい笑顔、忘れません。今までありがとうございました。

# 2.

## 各種審議会等について

### 平成 29 年度第 1 回三条市男女共同参画審議会報告

丸山静江

平成 29 年 7 月 7 日(金)午後 3 時から 5 時までの予定で、会場を三条市男女共同参画センターで執り行われました。

議題

(1)平成 28 年度三条市第 2 次男女共同参画推進プラン実施状況(案)について

(2)平成 29 年度三条市第 2 次男女共同参画推進プラン実施計画(案)について

(1)の中で中学生・高校生のためのデートDV防止セミナーについては、実施したのは東高等学校 1 年生のみ。中学校はゼロ。重要と認識されているが実施校待つ状態。強い姿勢で実施させることは出来ないかと市の職員に問いかけました。

男性職員の育児休業について。市職員の該当者 9 人いましたが、取得者 0 人。プライバシーの問題もありますが、取らなかった理由を知りたい。上司の声掛けで休みやすくする必要があるのでとの意見が出ました。

(2)の中で公民館主催「男の料理教室」

男性委員からは「料理を作るのは苦にならない。楽しい」と。女性からは、家計を考えて安い予算で作る大変さを知って欲しいと意見が出ました。予算内で出来る家庭料理教室が良いのではに落ち着きました。

「ひとひとフォーラム」について

平成 29 年度 (案)

○みんなで知ろう！男女共同参画

対象：65 歳以上の男女

目的：「男は仕事」「女は家庭」という考え方をなくして、日常生活における家庭内での役割分担について考えてもらうきっかけを提供する。ひいては、これから先一人になった時に困らないように、自分のことは自分で出来るようにしなければいけないということを認識してもらう。老若男女が良いのではとの意見も出ましたが、今年はターゲットを絞り結果を見て来年度に決めれば良いにまとまりました。一人で生きていく力も大事だが、特に男性が引きこもりにならない場を作ることでも考慮しなければと色々意見が出ました。

余談 旧南小学校を知らない委員が会場にたどり着くのに四苦八苦したと。ナビは細い道を案内して困り、歩く人にもものづくり拠点施設の場所は聞いても「知らない」と。南小学校の名前を出せば分かったと思いますが。市の職員は地図を入れなかったことを陳謝しました。

### 平成 29 年度 第 1 回三条市介護保険運営協議会報告 安室久恵

7 月 31 日、平成 29 年度の第 1 回三条市介護保険運営協議会が市役所で開かれた。任期 2 年の新委員の顔合せと会長等の選任、一年間の審議計画等が話し合われた。三条市介護保

険運営協議会の委員は公募委員4人のほか、医師会、自治団体、保険医療・福祉事業など17名で構成される。さらに地域包括支援センター運営部会と地域密着型サービス運営部会に分かれて協議をしていく体制である。

高齢者福祉計画・第6期介護保険事業 平成28年度実施状況が報告され、資料に基づいて話し合われた。三条市の高齢化率は、28年度は30%で、今後の介護保険の方向はより厳しいものとなることが確認された。介護認定において少しではあるが数字上、認定度に厳しさが表れているように見える。

これから平成30年度からの第7期の介護保険事業計画について協議していくことになる。地域包括ケアシステム構築がより重要度を増していくことで、地域で連携していく取り組み・推進が課題になっている。具体的な進展はこれからであろう。

### 平成29年度 第1回地域包括支援センター運営部会報告 安室久恵

三条市介護保険運営協議会終了後、部会ごとの協議があり、私は前期に引き続き包括支援センター運営部会に振り分けられた。全市5地域の包括支援センターの運営について協議する。部会長等が選任され、平成29年度の運営部会の審議計画が了承された。

- ①介護予防給付ケアマネジメント業務の委託について
  - ②平成28年度 地域包括支援センターの実施状況について
  - ③平成28年度 地域包括支援センターの収支決算について
- これらの報告について、異議なく了承された。

## 3.

### 燕三条エフエム放送（ラヂオは〜と76.8MHz）ワイワイ女性ひろば

●本放送 毎週木曜日 11:00~11:30 ●再放送 毎週水曜日 19:30~20:00

8月のテーマ「気象情報使いこなし講座」

- ①8月3日 雨の降り方が変化している
- ②10日 集中豪雨はなぜ起こるか
- ③17日 水害対応マニュアルを読む
- ④24日 大雨に備えた暮らし方
- ⑤31日 情報は命を守る



メンバー：長峰 聡（三条市防災気象アドバイザー）

米持克広（三条市行政課防災対策室長）

野崎ミチコ、田辺とも子

13年前の7月以降、大雨や土砂災害のニュースは他人事ではなく、自然災害発生を身近に感じるようになりました。しかし防災や減災に関心が“ある”はずなのに、その時のための準備や心構えはどうかと問われると、今ひとつ曖昧で自信は無い。そんな時、自治会が開催した講座で長峰さんのお話を聴く機会に恵まれました。気象に関するその説明は、目からうろこの連続で、即座に番組出演をお願いしたところ、時期的には超多忙な長峰さんと米持さんですが、お引き受けくださいました。「やはり、専門家のお話は腑に落ちる」ことを皆さまにも実感していただければと思います。天気予想図の見方や雨雲の流れ方など、気象にがぜん興味が湧くと同時に、水害対応マニュアルを正しく理解することが大切だと思いました。どうぞお聴きください。（田辺）

ダイバーシティの話はしません

## 基本に戻ろう ジェンダーイコリティ/男女共同参画

石川伊織さん

(長岡市男女共同参画審議会会長・新潟県立大学)

ダイバーシティの話はしません、と言いました。なぜなら、ここ20年、次々表れる新しい言葉にみな踊らされ続けていると思っているからです。

### 1. 言葉の意味を知っていますか？

<ジェンダー> どの事柄がジェンダーかを探っていくと、生物的な問題も含め、おそらく全部がジェンダーでしょうと思えます。私たちの社会は、性をルールに組み込んでいかないと維持できない仕組みになっているからです。男女の違いが、どう見ても自然、普通、当たり前のことというのが実は相当危ない、そこにバイアス（注：偏り、偏見）がかかっていないなんてあり得ない。知らないうちに、それが自然だと思えるふうに性役割が刷り込まれています。そこを説明するためにジェンダーという単語を使い始めたはずなのに、時を経てそれぞれのイメージが加わり、気がついたら「何？それ」という話になっていることが多々あります。

<男女共同参画社会基本法> 1999年に制定された翌年、国連総会で代表団が英訳したものを報告し、「男女共同参画」を「gender equality」と訳しています。つまり、男女平等についての基本法というわけです。なぜこれを男女共同参画としたのか。ジェンダーイコリティをそのまま訳した場合は、その中味は明々白々だけれど、誰もが分かる「男女」「共同」「参画」「社会」といったそれぞれにある種のイメージを伴った単語を組み合わせることで、明白だった意味をあいまいにしましょうと考えた人達があります。こうすれば法律の実効性が薄くなるだろうと判断したのです。非常に賢い仕業です。法律は通すけれど、その中身を骨抜きにしようというわけです。結果として、その通りになってしまいました。誰も「男女共同参画」の意味を正しく理解しなくなっていました。

<ワークライフバランス> この話も私はしたくありません。そもそも「ワーク」は、日本人にはなじみの薄いキリスト教では、アダムとイヴが悪いことをしたので神様に科せられた罰で、正しい人なら罰は当然少なくなるはずだという意味になるのです。ワークしない人の方が偉い、ということです。問題は、労働基準法が規制を極端に緩めたせいで、労働条件が非常に悪くなり、パートや派遣が増え、国民所得がどんどん落ち、勤労者は残業をしなければならない。しかし国は、労働者保護の政策に戻すことをせず、余裕のある大企業に労働時間をもっと緩やかに、バランスを取るよう労働者に働きかけましょう、その方が生産性が上がるからと説いて回ったわけです。ところが一方の労働者が家庭生活を維持したいからと、早く退社しようとしても受け入れない。法規制がないので、労働者側がワークライフバランスを要求したなら首になるわけです。そんなむちゃくちゃな話の太鼓持ちはできない。こういうふうないい加減な話がとても多い。

<女性活躍> この言葉はもっとマイナスです。生活環境や家事・育児の負担を変えないまま、男性と同じように働いてもらいますと言っているわけです。男女平等をそのような形で定着させてしまった人たちは、本来の男女平等を目ざそうとすることに対して、ものすごいブレーキをかけている。今、そういう状況だと思うんです。

〈男性の共同参画〉 こんな単語が出てきています。国は、男性の問題でもあると打ち上げておきながら、男性からも多くの意見を聞こうというプランを示すだけで、結局、そこでも女性の声が通らなくなってしまうという話になっています。

〈ダイバーシティ〉 経営学の用語です。会社が危機的状況になった時の生き残りの戦略のために、「小異を捨てて大同につく」ならぬ、小異を組織の中で温存するという、実はそういう話でしかないのです。だから、こんな話はしたくないのです。みなが少しずつ違うのだから、違いは理解できなくても、違いがある人間がいるのを認めよう、合わせる必要はないが理解して尊重し、認めること。この「多様性」を認めることについて勉強しようとするなら、その言葉で政府がやろうとしている中身は何かを知ろうとすることが大切。共同参画の問題ならば、保育所を作ることや介護士の給与をあげることなどが入っているのか。働く人たちが経営者の恩情にすがらざるを得ないような政策を、さもまともな方針であるかのように延々と揚げています。

## 2. いい加減な言葉に踊らされないために何をするか

イメージや「感じ」で考えるのではなく、言葉の持つ中身を見誤らないようにと話してきました。あえて間違ったイメージを伝播しようとしている人たちがいるからです。そのためにダイバーシティのようなカタカナを使っている可能性、あるいは女性活躍のように、明らかに女性の労働力を引き出したい意図を、まぎらわしく言い換えていることなどです。そんな時に、それは「女性の酷使」であって、活躍ではないと言い続けなければならないのです。

それには日常的にきちんと勉強して理論武装をし、広く伝える時に使える言葉を身につけていなければならないでしょう。政令や法律の文書がたくさんあります。国がいろいろな統計書や男女共同参画白書なども出します。直近の市民意識調査などのグラフで示されている冊子もあります。これらを見逃さずにしっかり読む。読めば「変だぞ」までは解りますから、皆で読み合わせをやる勉強会を組織できたらすばらしい。そして、私たちが目ざしていることは何で、本当に推測しなければならないのは何かということを考え、確認し、討論することが大事です。

みなさん、国が繰り出す新しい単語に、過度に反応したり、敏感になったり、かつ踊らされたりしないようにしましょう。

### 編集後記：

夏休みがスタートして、それまでは一人静かに過ごしていた2才の孫が俄然元気を出し、1人が2人になっただけなのに、やんちゃの度合いは4倍にもなって毎日が孫たちとの格闘、いや、死闘の日々です。暑さとの戦いもあって少々バテ気味の中で仕上げた鮮度一番220号、どうぞ隅から隅までお読みください。(原)



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>